

令和6年度 鶺鴒小学校学校評価アンケート結果について



① 保護者アンケート		4点満点	R6	② 子どもアンケート		4点満点	R6
1	学校は、子どものよさや頑張りを認め、自己肯定感を育む教育をしている。	3.3	16724230	1	先生は、自分のよいところや頑張っているところを認めてくれる。	3.5	42924935
2	学校は、分かる・楽しい授業に努め、子どもに学力を付けている。	3.2	12827238	2	授業がよく分かる。授業が楽しい。	3.4	37925177
3	学校は、保護者や子どもの悩みや困りごとに寄り添い、真摯に対応している。	3.2	16323142	3	先生はなやみや相談ごとに対し、親身に応じてくれる。	3.5	44821749
4	学校は、いじめ防止基本方針（ホームページ参照）に沿ったいじめの防止や対応に取り組む、温かい心の育成とよりよい関係づくりに取り組んでいる。	3.3	15524936	4	人のいやがることをしていない。また、悲しい思いをしている子をそのままにしていない。	3.4	39625554
5	学校は、家庭や地域と連携し、緊急時の情報発信や、非常時を想定した訓練、環境衛生など、児童の安心・安全に努めている。	3.5	2421871	5	日頃から事故や災害、けが等から身を守れるようよりよく考え、判断して行動している。	3.5	44820942
6	学校は、タブレット端末などICTを使った新しい教育活動に努めている。	3.4	19022029	6	タブレット端末を使って勉強をすることができる。	3.7	52816828
7	学校は、英語に親しみ、外国の文化に関心をもてるよう工夫している。	2.9	7128184	7	英語を使って簡単なコミュニケーションをしたり、外国の文化を学んだりして楽しい。	3.3	37022885
8	子どもは、自他（家族・仲間・地域の人）の命の尊さを理解した行動をしている。	3.3	14926328	8	自分の命も周り（家族・仲間・地域）の命を大切にしたい行動をしている。	3.7	54716314
9	子どもは、苦手なことに挑戦し、努力することのよさを感じている。	2.9	76240112	9	苦手なことにもあきらめずに取り組むことができる。	3.3	34927485
10	子どもは、話す人を見て、最後まで話を聞くことができる。	3.0	8227580	10	話す人を見て、自分の考えと比べながら、最後まで聞くことができる。	3.3	34929665
11	子どもは、自分の考えに理由をつけて話すことができる。	2.9	7726493	11	自分の考えをわけをつけて話すことができる。	3.0	255284145
12	子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	2.8	102191125	12	家庭学習に取り組む時間を決めて、自分から進んで行っている。	3.1	296272108
13	子どもは、本（図書、電子図書、新聞など）に親しんでいる。	2.4	82110173	13	教科書や本（電子図書も含む）を進んで読んでいる。	3.1	321229109
14	子どもは進んであいさつをしている。また、「ありがとう」、「ごめんなさい」をきちんと言える。	3.1	12925150	14	あいさつや返事、「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から言える。	3.6	49919228
15	子どもは、家庭で身の回りの整頓や手伝い、掃除などを自分から行っている。	2.6	54205153	15	学校や家庭で身の回りの整理整頓や仕事、手伝い、掃除などを進んで行っている。	3.3	33428975
16	子どもは、家庭や地域で温かい言葉で話したり、譲ったり、助け合ったりしている。	3.0	9727956	16	学校や家庭、地域で温かい言葉で話したり、ゆずったり、助け合ったりしている。	3.4	37329453
17	子どもは、ゲームや携帯、テレビやタブレットの約束や交通ルールなど、約束やきまりを守って生活している。	2.8	6825797	17	ゲームや携帯、テレビ、タブレットの約束や交通ルールなど、約束やきまりを守って生活している。	3.5	43322542
18	家庭では、子どもの話をよく聞いたり、よさや成長を見つけてほめたりしている。	3.2	12828824	18	家の人は、話をよく聞いてくれる。また、自分のよいところやがんばったことをほめてくれる。	3.6	52713544

【保護者評価】

昨年度に続き、家庭や地域と連携した児童の安心・安全への対応に評価をいただきました。今後も「スマート連絡帳」、「ほけんだより」等で情報を共有し、学校・家庭・地域での連携を大切にしながら児童の安心・安全に努めてまいります。

課題として、約束やきまりを守るといった、規範意識をより高めていく必要があると考えてみえることが分かりました。

→

【今年度を踏まえた次年度の方向】

・毎月の「いじめを見逃さない日」やいじめ防止週間、道徳の授業、人権週間の取り組みなど、「生命の尊重」、「人権の尊重」に関わる教育活動を今年度も大切にしてきました。来年度も引き続きこれらの活動を進め、自分や仲間を大切にすることができる子どもたちを育むよう取り組んでいきます。

・学習の基礎となる「聞く力」「話す力」を育むとともに、タブレット端末の効果的な活用や、地域の方や外部講師などリアルな「人、もの、こと」からの学びの設定、などの工夫することで、子どもたちにとって「分かる」「できる」授業づくりを目指していきます。

・子どもの読書活動は、「言葉を増やす」、「表現力を高める」、「想像力を豊かにする」など、生きる力を身に付ける上で大切なものです。週二回の朝読書、図書委員会による図書館まつり、必読書読切の勧め等に加え、地域の方による読み聞かせ、保護者の方との親子読書など、学校・家庭・地域で連携して読書活動を行って왔습니다。来年度も、様々な読書活動を行いながら、より読書に親しめる子どもを育成できるように努めていきます。

←

【子ども評価】

学校、家庭ともに、子どもたちは認め、励まされる環境の中で、あいさつをしたり、温かい気持ちで行動したりする姿が育ってきていることが分かりました。

課題として、家庭学習が進んで行なえていないことが分かりました。家庭学習だけではなく、目標を立て、それに向かって計画を立てて粘り強く取り組む力を伸ばしていくことが大切だと考えました。